

北海道の印刷

PRINTING INDUSTRY IN HOKKAIDO

第714号

[Website] <http://www.print.or.jp>

[E-mail] info@print.or.jp

11

2015

平成27年
11月10日発行

INDEX

印刷燦燦	3
平成27年度第4回理事会開催	4・5
「北海道情報・印刷産業展」が「HOPE」に生まれ変わります	6・7
全印工連創立60周年記念行事が盛大に開催される	8・9
全印工連創立60周年記念特別表彰受賞者	10
第21回北海道青年印刷人フォーラム・ 2015年度全国青年印刷人協議会北海道ブロック協議会開催	11
『マイナンバー取扱ハンドブック』説明会案内	12
「未来を創るセミナー」案内	13
オフセット印刷技能検定合格者	14
北海道印刷関連業協議会平成28年新年交礼会案内	14
新規加入賛助会員紹介	14

[表紙] 阿寒湖と雄阿寒岳 (11月: 釧路市)

北海道印刷工業組合

〒064-0808 札幌市中央区南8条西6丁目1036番地
TEL.011-562-6070/FAX.011-562-6072

UD
FONT
by MORISAWA

100%
古紙100%再生紙

VEGETABLE
OIL INK

GREEN PRINTING
P-00023
2015年度全国青年印刷人協議会北海道ブロック協議会
創立60周年記念特別表彰受賞者

CSR
P-00023

この印刷物は、CSRに
取り組む印刷会社が製作
した印刷物です。

印刷 燦 燦

ヲタク

NHKで「コミックマーケット」を徹底取材した「知られざる“コミケ”の世界（なぜ60万人が集まるのか?）」という番組が放送された。コミックマーケット（通称コミケ）は、毎年夏と冬に、東京ビッグサイトで3日間行われる日本最大の同人誌即売会である。現在では企業の出展もあり、年々参加者も増加、様々なサブカルチャーのファンが日本だけでなく、世界各国からもやってくる大きな祭典とのこと。2015年でなんと40周年を迎え、規模でも、歴史でも、世界に類を見ない大イベントらしい。そして経済効果は数百億円になるというから驚きだ。

さて、恥ずかしながら私には、かれこれ10年以上も続けているネットゲームがある。ここ何年もわずかな時間でのチャット（コンピュータネットワーク上で、リアルタイムに複数の人が文字を入力して会話を交わすこと）しかしていないが、その仲間には様々な分野の所謂「ヲタク」が大勢いて「コミケ」に情熱を注ぐ人達も少なくない。余談だが、実は会社の経営層の方々が思いの他多い。

何を言っているのかさっぱり解らない会話の内容も多々あるが、とても興味深い話を聞くこともできる。私は彼ら（ヲタク）から、まだ日本で「blog（ブログ）」というものが幅広く認知される前に「ホームページの作り方」「プログラムの作り方」「データベースの使い方」等を教えてもらった。一人一人が狭い分野ではあるが、とても深い知識を持っている事にはいつも感心させられる。言い方を変えれば彼らは「マニア」「知識人」だ。

どんなに地味な作業でも、興味のある分野では本当にコツコツと努力継続し何事も吸収して行くヲタクパワーが「コミケ」の源であるのだと思う。何か一つの事に、トコトン集中して進んでいける性格は貴重で、最近彼らの様な人達と一緒に仕事が出来たら面白いのではないかと思うことがよくある。

皆様の会社にはいらっしゃいませんか？ 見た目では気付かない場合が多く、普段あまり話さないが興味のある話をし始めると止まらない。もしその様な方がいれば、何かを変えるきっかけ作りに一役買ってくれるかもしれません。

北海道印刷工業組合理事 山 浩司

株式会社成瀬商会 代表取締役

下期事業スケジュールを決定

平成27年度第4回理事会開催

平成27年度第4回理事会が、10月9日午後1時30分から札幌市中央区のエイト会館で全道から理事12人と監事2人が出席して開催され、未来を創るセミナーはじめ下期事業スケジュール等を決定した。

理事会は、冒頭、板倉理事長が、「私は理事長を拝命して約1年半になる。組織を育成していくためには数が絶対的に必要である。1年半担当したが増やすことができなかつたことが反省の1つになっている。私自身、釧路地区、室蘭地区の再開発というか、そういうものに動いてみたいと考えている。釧路、室蘭地区は全体でやめられたが、その中から釧路地区では厚岸印刷、室蘭では北海印刷が加入されている。ということは組合に魅力を感じておられる方がいるのだと思う。私はそういう感覚を持っている。そういう方に考え方をきちんと伺って前の方々と一緒に活動できるような行動をとっていきたいと考えている。どうか皆さんの知り合いのなかにも近くにそういう方がいたら、加入促進を行っていただきたいというのが私の願いである。そういうかたちで動いてみたいと思っているのでよろしくお願ひしたい」とあいさつを述べた。

つづいて、定数報告が行われ、理事長を議長に議事に入った。

最初に報告事項として、(1) 事業実施状況について、北印工組の事業、全印工連の事業、関連団体の事業に大別して、7月に開催された第3回理事会以降の活動状況が報告された。

(2) 財務状況について、9月末の中間決算（第2四半期）の貸借対照表、損益計算書、予決算対比表、賦



課金納入状況が説明された後、植平監事から、中間監査の結果として内容、処理方法は適切である旨の監査報告が行われた。

次に、議事に移り、(1) 平成27年度下期事業スケジュールについて、組織の拡大、広報活動の強化、未来を創る業界運動の展開、共済事業への加入促進、福利厚生事業の実施、組織・財政状況の検討、組合創立80周年記念誌編纂の7本を柱とした、各事業の実施スケジュールが説明され、決定した。

下期の主な事業スケジュールは、Adobeテクニカルセミナーを11月7日、ホテルノースシティ（札幌）で開催する。②未来を創るセミナーを、ブライター・レイターの山下潤一郎氏を講師に迎え、1月8日、札幌グランドホテルで開催する。

また、③組合員のために特別価格で提供される全印工連特別ライセンスプログラム“CC”の周知を行う。④2020年の東京オリンピック控え、MUDの意義が高まっていることから、MUDコンペへの積極参加を呼びかけていく。

(2) 集団扱給油事業について、前回の理事会で、現在契約して提携先はこのところ価格が当初とは乖離して高値であることから、別の提携先を検討することの提案を受け、調べてみたところ、現在の提携先も8月から価格も下がり、新しく検討した提携先と価格に差異が無くなってきたことから、3~4ヵ月推移を見守って

再度検討することとした。

(3) 理事長候補者選出手順（内規）の一部改正について、同内規の1. (1) および2. (1) の支部長の数を現状に合わせ9名から8名に変更することを決定した。

理事長候補者の選出手順（内規）

1. 「理事長の選出手順（内規）」

- (1) 北印工組は、役員改選年の改選月3ヵ月前までに、副理事長1名、支部長8名、札幌支部選出理事1名をもって「次期理事長推薦委員会」を構成し、その総意によって、次期理事長候補者を選び、当該人の承認を得て、理事会に次期理事長候補者を推薦する。
- (2) 副理事長、専務理事は、組合運営が円滑に展開されることを前提に、次期理事長候補の考えによって人選される。
- (3) 手続きとしては、定款に基づき、総会で役員の選挙が行われたあと、理事会を開催し、理事長、副理事長、専務理事の選出を行い、正式に決定する。

2. 「次期理事長推薦委員会」の運営

- (1) 推薦委員会は、副理事長1名、支部長8名、札幌支部所属理事1名をもって構成し、そのなかから座長を選ぶ。
- (2) 座長は、推薦委員会を統轄し、各委員の意見を聞き協議のうえ候補者をしぼる。
- (3) 座長は、候補者に「次期理事長」就任（または重任）を要請する。
- (4) 候補者から次期理事長就任承諾の回答を得たのち、推薦委員会に報告し承認を得る。
- (5) その後、理事会に座長が経過および推薦候補者を提案し、理事会の承認を得る。

3. この内規の改廃は、理事会で決定する。

（平成 6年1月10日 制 定）

（平成20年4月23日 一部改正）

（平成25年11月8日 一部改正）

（平成27年10月9日 一部改正）

(4) 次期理事長推薦委員会の設置について、前記、理事長候補者の選出手順（内規）に基づき、次期理事長推選委員会を設置することを決定した。

また、第1回委員会を1月8日に開催することとした。



平成27年度次期理事長推薦委員会

副 理 事 長	加 藤 景
旭 川 支 部 長	井 田 多加夫
小 樽 支 部 長	米 澤 正 喜
オ ー ツ 支 部 長	松 井 丈
札 幌 支 部 長	岸 昌 洋
十 勝 支 部 長	野 津 雅 之
苫 小 牧 支 部 長	山 田 新 一
函 館 支 部 長	浜 中 正 治
南 空 知 支 部 長	朝 山 竹 博
札 幌 支 部 理 事	大 和 繁 樹

(5) 平成27年度第5回理事会、下期北海道地区印刷協議会、新春経営者研修会「未来を創るセミナー」について、北海道印刷関連業協議会平成28年新年交礼会に合わせ、1月8日午後1時から第5回理事会、午後1時30分から下期北海道地区印刷協議会、午後2時45分から新春経営者研修会「未来を創るセミナー」を開催することとした。

新春経営者研修会「未来を創るセミナー」は、ブライター・レイターの山下潤一郎氏を講師に招き、4月に日本語訳が発行された「未来を創る」の解説、IGAS2015に見る業界の方向性などを内容として開催する。

(6) 賛助会員の加入承認について、3社の加入を承認した。

DICグラフィックス株式会社北海道支店

平成27年9月1日加入

理想科学工業株式会社北海道営業部

平成27年9月1日加入

富士フィルムビジネスサプライ株式会社札幌営業所

平成27年10月1日加入

このあと、各支部の活動状況が報告され、理事会を終了した。

「北海道情報・印刷産業展」が「HOPE」に生まれ変わります!!

これまで北海道情報・印刷産業展実行委員会を構成していた北海道印刷工業組合、北海道グラフィックコミュニケーションズ工業組合、北海道製本工業組合、北海道紙器段ボール箱工業組合、北海道フォーム印刷工業会の5団体は、7月31日、同実行委員会を発展的に解散し、北海道における新しい印刷産業展のあり方を検討してきて、来年から「学びと情報提供」の場として、新たにHOPE（HOKKAIDO PRINT EXPO）として開催することとし、10月30日にHOPE実行委員会を設立し、会長に板倉 清氏（北海道印刷工業組合理事長）を選出するとともに、来年の「HOPE2016」の概要を決定した。

また、名称は、「HOKKAIDO PRINT EXPO」頭文字を取って「HOPE」を通称として使用することとした。

これまで23回にわたり開催してきた「北海道情報・印刷産業展」は、今年度（6月11日～13日開催）をもって終了することとなった。

今、印刷産業は、取り巻く環境が様変わりし、未曾有の転換期にあり、勝ち残っていくためには、ソリューション・プロバイダーへの深化が求められている。

そのためには、ハードとソフトの両方に着目をしていかなければならず、新しい目線で印刷産業を捉えることができるよう、学びに主眼を置いて、印刷産業が発展を遂げられるようにしていかなければならない。

このような状況を鑑みて、来年度から、印刷産業展

は、これまで培ってきた「北海道情報・印刷産業展」の伝統と成果を踏まえて、スタイルと内容を変えて、展示とセミナーを組み合わせた、学びと情報提供の場として、新しく「HOPE」（HOKKAIDO PRINT EXPO）として歩みを始める。

来年の「HOPE2016」の開催概要は、次頁のとおりとなっているが、正式な開催案内ならびに出展・出講の募集案内は、平成28年4月中旬頃に発送する予定としている。

HOPE実行委員会役員は、次のとおり決定した。

HOPE実行委員会役員

会 長	板 倉 清	（北海道印刷工業組合理事長）
副 会 長	守 田 敏 治	（北海道紙器段ボール箱組合理事長）
理 事	杉 渕 好 美	（北海道グラフィックコミュニケーションズ工業組合理事長）
理 事	岳 隆 久	（北海道製本工業組合理事長）
監 事	西 智 樹	（北海道フォーム印刷工業会会長）

執行体制

実行委員長	岸 昌 洋	（北海道印刷工業組合副理事長）
事務局長	伊 藤 克 義	（北海道印刷工業組合専務理事）

また、HOPEについての開催概要ならびに出展募集の説明会を、11月18日(水)午後5時から、「かでの2・7」（札幌市中央区北2条西7丁目）で開催する。

HOPE2016 開催要領

名 称	HOPE2016(HOKKAIDO PRINT EXPO2016)	
主 催	HOPE実行委員会	
後 援	経済産業省北海道経済産業局(予定) 北海道(予定) 札幌市(予定)	
協 賛	(株)日本印刷出版社(予定) (株)印刷出版研究所(予定) ニュープリンティング(株)(予定)	
期 日	搬 入 ・ 設 置	8月31日(水)・9月1日(木)
	会 期	9月 2日(金)・3日(土)
	搬 出 ・ 撤 去	9月 3日(土)
時 間	10:00~17:00	
会 場	アクセスサッポロ(札幌市白石区流通センター4丁目3番55号)	
展 示	1/4フロア	
	最大小間数 76小間 ※申込先着順で満小間になり次第締め切り	
セ ミ ナ ー	開 催 方 法	①主催者企画セミナー ②出展社企画セミナー
	会 場	小 展 示 場(収容人員 120人) 研 修 室 A(収容人員 80人) レセプションホール(収容人員 80人)
	14セミナー(うち販売12セミナー) ※申込先着順で満小間になり次第締め切り	
ストックヤード	なし	
出 展 料	1小間 110,000円(消費税別)	
セミナー出講料	小 展 示 場	180,000円(消費税別) 主催者企画セミナー・出展者企画セミナー共通
	研 修 室 A	160,000円(消費税別) 主催者企画セミナー・出展者企画セミナー共通
	レセプションホール	160,000円(消費税別) 主催者企画セミナー・出展者企画セミナー共通
	【講師謝金(50,000円)・交通宿泊費(70,000円)を含む】	

セミナー開催日程

	会場名	収容人員	10:30~12:00	13:00~14:30	15:00~16:30
9月2日(金)	小 展 示 場	120	基 調 講 演	①	②
	研 修 室 A	80		③	④
	レセプションホール	80		⑤	⑥
9月3日(土)	小 展 示 場	120	組 合 主 催 講 演	⑦	⑧
	研 修 室 A	80		⑨	⑩
	レセプションホール	80		⑪	⑫

全印工連創立60周年記念行事が 盛大に開催される

全国の印刷産業人がさらなる発展を誓う

全日本印刷工業組合連合会は、創立60周年記念行事を、10月16日午後2時から東京都千代田区のパレスホテル東京で全国から組合員はじめ関連業者、国会議員、関係官庁からの来賓900人が参加して開催した。記念行事は、記念式典、記念講演会、記念パーティの3部構成で行われ、記念式典において創立60周年記念表彰が行われ、長年にわたり業界の振興・発展、組合運営に尽力した組合員の功績を称えた。記念講演は、元ライブドアの堀江貴文氏が、「不易流行～新たな時代の挑戦者～」をテーマに講演した。

全日本印刷工業組合連合会は、1955年（昭和30年）9月、全国各地の印刷工業調整組合が結集し、中小印刷業界の全国団体として結成された。

記念式典は、国歌斉唱、印刷産業人綱領唱和に続いて、島村博之全印工連会長が式辞を述べた。全印工連の歴史を振り返り、図り知れない成果を上げた構造改善事業を経て、中小企業近代化促進法が役目を果たしたことにより変革期を乗り越え、共創ネットワークの構築、業態変革へ挑戦、ソリューション・プロバイダーへの深化までの流れを紹介したあと、「まさに組合運営の近代化にハンドルを切っていただいた執行部の先輩の皆様、そしてその方向転換にしっかりとベクトルを合わせてきた先輩組合員の皆様のおかげで今の組合活動があると思っている。印刷業界は世間からも行政からも衰退産業であると言われ始めた昨今、実は成長産業であると導いてくれているのは組合以外の何物でもない。まだまだ前途多難な業界ではあるが、今いる組合員は全員明るい未来を抱き、そこに



向かってさらなる業態変革を繰り返し、その時代、時代にしっかりと勝ち残れる力を持っていると確信している」と述べた。

来賓祝辞では、平井淳生経済産業省商務情報政策局文化情報関連産業課長が「全印工連では今年から2025年を目指した新しい印刷産業の成長戦略の検討をスタートされたと聞いている。日本の今一番大きな課題である地域創生の実現のための地域プラットフォームとして印刷産業が力強く位置づけられるビジョンになることを期待している」と述べた。

稲木歳明日本印刷産業連合会会長は、「日印産連も今年で設立30周年の節目を迎えることができた。そこで日印産連の役割や活動を抜本的に見直すブランドデザインを今年から実行している。さらに印刷産業が果たすべき役割をわかりやすく表現したミッション・ステートメントも制定した。印刷産業の社会的責任を果たすことに力を注いでいる。スタートしたばかりの取り組みだが、全印工連各社の役に立てるよう実行していきたい」と述べた。

次に、創立60周年記念表彰が行われ、経済産業大臣賞を3人、中小企業庁長官表彰を6人（北海道から岡部康彦氏が受賞）、経済産業省商務情報政策局長表彰を14人（北海道から木野口功氏が受賞）、全国中小企業団体中央会会長表彰を8人、全印工連会長特別表彰を94人（北海道から高木哲朗氏、加藤順平氏、吉田政司氏、西山恒夫氏、飯村俊幸氏が受賞）が、栄えある表彰を受けた。

受賞者を代表して、経済産業大臣表彰を受賞した浅野健全印工連元会長は「私は昭和47年に印刷産業人として歩みを始めたが、東印工組、全印工連に関わったおかげで明確な区分がで

きた。それまでの私は自社のみ、東京のみの考えしか持っていなかったが、多く縁をいただき、学ばせていただいた。これらも賞の名を汚さぬよう努力していきたい」と謝辞を述べた。

以上をもって記念式典を終了した。



堀江貴文氏

午後3時30分から記念講演会が、講師に元ライブドア社長、現在はSNS(株)ファウンダーの堀江貴文氏を講師に「不易流行～新たな時代の挑戦者～」をテーマに開催された。

堀江氏は「紙で表現しているものをデジタル化する考えを捨て、スマートフォンやタブレットに最適化したコンテンツやサービスの開発を考えてほしい。ビジネスチャンスは無限にある」と語った。

午後5時から記念パーティが開催され、創立60周年を祝い、全国の印刷産業人が交流を図り、さらなる発展を誓いあった。



全印工連創立60周年記念特別表彰受賞おめでとうございます

全日本印刷工業組合連合会創立60周年記念式典が、10月16日に東京都千代田区のパレスホテル東京で開催され、長年にわたり業界の指導・育成に尽力し、振興発展に大きく貢献された方々の表彰が行われました。

北 海道から、中小企業庁長官表彰を岡部康彦氏、経済産業省商務情報政策局長表彰を木野口功氏、全日本印刷工業組合連合会会長特別表彰を高木哲朗氏、加藤順平氏、吉田政司氏、西山恒夫氏、飯村俊幸氏が受賞されました。

〔中小企業庁長官表彰〕

岡部 康彦 氏

北陽ビジネスフォーム株式会社
代表取締役会長

全日本印刷工業組合連合会参与
北海道印刷工業組合顧問
札幌支部



〔全日本印刷工業組合連合会会長特別表彰〕

吉田 政司 氏

北斗印刷株式会社
代表取締役社長

北海道印刷工業組合相談役
小樽支部



〔経済産業省商務情報政策局長表彰〕

木野口 功 氏

株式会社アイワード
代表取締役会長

北海道印刷工業組合顧問
札幌支部



〔全日本印刷工業組合連合会会長特別表彰〕

西山 恒夫 氏

大輝印刷株式会社
代表取締役会長

北海道印刷工業組合顧問
札幌支部



〔全日本印刷工業組合連合会会長特別表彰〕

高木 哲朗 氏

稚内印刷株式会社
代表取締役会長

北海道印刷工業組合顧問
本部直轄



〔全日本印刷工業組合連合会会長特別表彰〕

飯村 俊幸 氏

飯村印刷株式会社
代表取締役社長

北海道印刷工業組合顧問
札幌支部



〔全日本印刷工業組合連合会会長特別表彰〕

加藤 順平 氏

阿部綜合印刷株式会社
相談役

北海道印刷工業組合相談役
函館支部



第21回北海道青年印刷人フォーラム 2015年度全国青年印刷人協議会 北海道ブロック協議会開催

第21回北海道青年印刷人フォーラム・2015年度全国青年印刷人協議会北海道ブロック協議会が10月3日午後1時から、札幌市中央区の松崎ビル会議室で約20人が出席して開催された。

全青協の大木議長が、「今期は『グローバル』（グローバル+ローカル）をテーマに活動して2年目。外国人観光客が増え続ける中、わが業界もそれをビジネスチャンスとして捉えていく必要があり、このような業界の次代を担う人たちが集うことは大変有意義で、是非、地域活性プロモーターとしてそれぞれの地域で活躍してほしい」とあいさつを述べた。

また、今年7月にフランス・パリで開催されたJAPAN EXPOに出展した際のサンプルを配布し、写真を交えながら報告が行われた。海外での日本文化（特にポップカルチャー）に対する関心の高さを再認識でき、実際現地へ赴いてその熱気を肌で感じる事が大切で、機会があれば是非チャレンジしてほしい旨の報告が行われた。

続いて、グローバルセミナーに移り、昨年の基礎編に続き、今年はインバウンドビジネスの可能性と重要性について実践編と題し、恵全青協副議長を講師にセミナーが行われた。人口減少が進み、地域が無くなるうとしている中で、外国人観光客を取り込むインバウンドを行うには、まず、我々自身が、地域を愛し、日本を



愛することが重要であり、「真の国際人」とは自分の国について語ることができることであると説明した。そして、具体的に観光庁から発行されているインバウンド着地型滞在プログラムの説明と、各地における観光地の事例紹介が行われた。

ワークショップ・ディスカッションでは、昨年のグローバル基礎編の確認のため、穴埋め問題を行い、その後、東海林全青協副議長をリーダーに、グループに分かれてインバウンド滞在型プログラムを実際に考え、作成してみるというワークショップを行った。漁業体験し、自分で捕った魚を食べる「漁師体験ツアー」や北海道の食を堪能し、景色を楽しみながらウィンタースポーツを体験してもらい、ヘルスケアをってもらう「北海道満喫ヘルスケアツアー」といった案が出て、参加者の皆さんは頭を悩ませながらも、活発なディスカッションが行われた。

最後に大木議長から、今回の協議会で得たものを各社に持ち帰って、実務として活用して頂きたいと話があり、全印工連の共創ネットワークへの参加と、来年2月のPrintNext2016の案内を行い閉会した。



『マイナンバー取扱ハンドブック』 説明会開催のご案内

マイナンバー事務取扱担当者が待望のお悩み解消ツール

いよいよ、来年1月からマイナンバーの利用が開始されます。
事業者がマイナンバー取扱規定および取り扱い状況をトレースするために必要な記録様式
を、豊富なひな形を提供し説明します。

【説明会内容】

- 1 マイナンバーの取り扱い規程および安全管理措置の説明
- 2 マイナンバー・特定個人情報の取扱いをトレースするために必要な記録様式の説明
- 3 個人情報に関する意見交換会

主 催	一般社団法人日本印刷産業連合会 協力：北海道印刷工業組合
開 催 日 時	平成27年11月18日(水) 13時30分～15時30分
開 催 場 所	北海道立道民活動センター かでる2・7 1040会議室 札幌市中央区北2条西7丁目 電話：011-204-5100
受 講 料	1名：5,000円（消費税込）資料集代金を含む
講 師	清山曜二氏（日本印刷産業連合会プライバシーマーク審査センター）
申 込 方 法	11月11日（水）までにFAXにてお申込みください。 送信先：FAX.011-562-6072（北海道印刷工業組合） 申込用紙は、北印工組HP（ http://www.print.or.jp ）からダウンロードできます
受講料支払	送 金 先：北洋銀行 東屯田支店 普通預金 0212497 口座名義： <small>ほっかいどういんさつこうぎょうくみあい</small> 北海道印刷工業組合

平成28年新春経営者研修会

「未来を創るセミナー」のご案内

～破壊されない印刷の未来へ～

北海道印刷工業組合は、話題の著書となっている「未来を破壊する」および「未来を創る」の日本語訳を担ったブライター・レイター代表の山下潤一郎氏を講師に招き、経営者研修会として「未来を創るセミナー」を開催する。

アメリカの著名なコンサルタントであるジョー・ウェブ博士と著述家のリチャード・ロマノ氏の著した「未来を破壊する」は、2012年に日本語版が出版され、印刷ビジネスに携わる人たちのなかで話題になった。

その続編が、今年4月、「未来を創る」として日本語版が出版された。

同書では、印刷物はかつてのように唯一無二のメディアではなくなり、デジタルメディアが効果測定可能なツールとして優位に立っているが、実は印刷物も効果測定ができ、印刷物の「未来を創る」キーワードは「マーケティングオートメーション」であるとし、印刷業界にとって無縁に思えるマーケティング用語が印刷の未来に深く関係することが詳しく解説されている。

前著の「未来を破壊する」が“問題提起”であっ

たのに対し、「未来を創る」はその“解決編”で、このままでは決して明るくない未来を破壊し、明るいものに変えていく内容となっており、印刷業界を取り巻く経営環境が急速に変化する現代において、どのような方向で経営マインドのチェンジを図っていくべきかにスポットを当て、印刷会社経営層必読の書と話題になっている。

セミナーでは、同書のポイントとキーワードそして最終到達点などを詳しく解説するとともに9月に開催されたIGAS2015での最新技術、ソリューションなどから印刷業界の未来について展望を行うことになっている。



- | | |
|----------|---|
| 1. 日 時 | 平成28年1月8日(金) 午後2時45分～午後4時15分 |
| 2. 会 場 | 札幌グランドホテル (札幌市中央区北1条西4丁目 電話011-261-3311) |
| 3. テーマ | 「印刷の未来を創る —THIS POINT FORWARD—」 ～破壊されない印刷の未来へ～ |
| 4. 講師 | ブライター・レイター代表 山下潤一郎氏 |
| 5. 受講料 | 北海道印刷工業組合組合員・賛助会員2,000円 左記以外4,000円
下記口座へ12月21日までに振り込む(振込手数料は受講者負担) |
| 6. 受講料支払 | 北洋銀行 東屯田支店 普通預金 0212497 / 北海道銀行 本店 普通預金 1169217
口座名: 北海道印刷工業組合 |
| 7. 定 員 | 80人 |
| 8. 申込期日 | 平成27年12月21日(月) [申込先着順で定員になり次第締め切る] |

講師紹介 山下潤一郎氏

ブライター・レイター代表

1968年生まれ。静岡県出身。国際基督教大学卒。米国系戦略系経営コンサルティング会社、欧州系通信機器メーカー・国内インターネットサービス企業の市場調査部門、米国系デジタル印刷市場調査会社など経て、長期利益を実現する新規印刷サービスの立ち上げや印刷会社の戦略立案・実践を専門とするコンサルティング会社、ブライター・レイターを設立。コンサルティングサービスの提供に加え、「ブライター・レイター・ニュース」の発行、印刷市場の調査・分析なども行っている。



受講申込は、<http://www.print.or.jp>からできます。

印刷技能士おめでとうございます

平成27年度オフセット印刷技能検定の合格者が、このほど発表になった。
組合員企業の合格者は次のとおり。

1級	藤本聖太（株アイワード・札幌支部）、下野聖治（岩橋印刷(株)・同）、上山 剛（同） 菅原生真（株プリプレス・センター・同）
2級	松村大河（岩橋印刷(株)・札幌支部）

北海道印刷関連業協議会 平成28年新年交礼会

北海道印刷関連業協議会の平成28年新年交礼会が下記により開催されます。

記

日 時：平成28年1月8日(金) 午後5時

会 場：札幌グランドホテル（札幌市中央区北1条西4丁目 電話011-261-3311）

会 費：8,000円

※申し込みは、12月10日まで、北海道印刷関連業協議会（電話011-562-6070）または同所属団体で受け付けています。

新規加入賛助会員

会社名	代表者	住 所	電 話	FAX	加入日
DICグラフィック株式会社 北海道支店	佐藤房雄	〒006-0832 札幌市手稲区曙2条5丁目2番58号	011-682-1711	011-682-7954	平成27年 9月1日
理想科学工業株式会社 北海道営業部	床爪孝行	〒003-0801 札幌市白石区菊水1条1丁目3番17号 理想札幌ビル	011-822-0033	011-822-0083	平成27年 9月1日
富士フィルムビジネスサプライ 株式会社 札幌営業所	山賀義徳	〒060-0042 札幌市中央区大通西6丁目1番地 富士フィルム札幌ビル	011-241-9400	011-241-9401	平成27年10月1日

北海道印刷工業組合 メールマガジン配信登録受付中

メールマガジンの配信希望は、北海道印刷工業組合のHPから申込受付を行っています。

[URL]

<http://www.print.or.jp>